

発行日:2012年12月10日

////////////////////  
///  
/// 『東日本大震災の教訓を未来に生かすプロジェクト』  
///  
/// 【Vol.12】  
///  
////////////////////

—《情報 Front-Line》—

ご紹介

■過去の災害を風化させない取り組み状況(九州地方)

今年も、梅雨前線に伴う豪雨、台風などにより全国各地で災害が多発しました。特に7月に九州北部地方を襲った九州北部豪雨では、死者行方不明32名という甚大な被害に見舞われました。

九州地方は、これまでも度重なる水害被害を被ってきており、過去の災害を風化させない取り組みとして、防災講話会、水害写真展などが数多く行われてきました。

また、東日本大震災後は、水害だけでなく将来起こり得る地震災害の被害軽減のための「備え」につながるよう防災講演会や震災パネル展も各県で多数行われています。

とりわけ、10月31日には「九州建設技術フォーラム2012」を開催し、1,700人を超える皆様にお越し頂き盛況の内に終えることが出来ました。

フォーラムの様子は以下からご覧いただけます。

↓「九州建設技術フォーラム2012」(実行委員会のサイト)

<http://www.cag-forum.com/>

現在 JR 久留米駅で「東日本大震災・九州北部豪雨パネル展」開催中(16日まで)です。

その他、今後も道の駅「ゆふいん」等やNEXCO SAでの開催が予定されています。

改めて様々な災害への「備え」をお考えいただく機会として、足を運んでみてはいかがでしょうか。

ぜひお知り合いにもご紹介ください。

☆—————☆

—編集後記—From a secretariat—

☆—————☆

災害の歴史や経験はに関しては、昔から各所で様々な形で受け継がれています。

宮崎市木花地区では、外所地震津波(そとどころじん、1662年)による甚大な被害を受け、供養碑が建立されました。50年ごとに供養祭を行い、そのたびに供養碑が建立されているそうです。(現在7基が並んでいます)

各地方にも同じような碑が築かれ、無言のメッセージが残っていると思います。先人の残した貴重なメッセージが風化せず、生かされるようにしていきたいものです。

今回は九州の情報をお知らせしました。

次回も、お役に立つような情報をお届けします。  
これからも、どうぞ宜しくお願いいたします。

=====  
※本メールの配信・配信先変更・配信停止を希望の方は、お手数ですが返信メールにて  
メルマガ事務局ご連絡ください。

※メルマガ事務局へのご意見につきましても、返信メールにてご連絡ください。

=====  
(事務局・連絡先)

土木学会 土木広報アクションプラン小委員会 メルマガ事務局

E-mail: [infraken@jcca.or.jp](mailto:infraken@jcca.or.jp)

(アドレスは暫定です。土木学会の正式なアドレスが準備でき次第変更いたします。)

---

Copyright (C) 2012 『東日本大震災の教訓を未来に生かすプロジェクト』

土木学会 土木広報アクションプラン小委員会